

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目		期間	1学期前半
中高・学年	中学校・1年	授業時数	期間/年間	5 / 38	教科書名
副教材 1		副教材 2		副教材 3	東京書籍

年間の到達度目標	<p>実践的・体験的な学習活動を通じて、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。</p> <p>衣食住や家族の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用する力を身につける。</p> <p>生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身につける。</p> <p>衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決をめざして家庭生活をよりよくするために工夫し、創造する力を身につける。</p> <p>家族の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身につける。</p>
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達度目標 (含定期テスト)	<p>衣服と社会生活とのかかわりを考え、目的に応じた着方や個性を生かす着用について工夫できる力をつける。</p> <p>簡単な日常着の製作について、自分なりに課題をもって計画的に製作できる力をつける。</p>
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

標準テスト等の目標	
-----------	--

月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
4	わたしたちの生活の自立 自分から進んでやってみよう	1	家庭科の学習を生活に生かす 学習を始めるにあたって	衣食住や家族の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために必要な知識と技術を進んで活用しようとしている。 衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指してよりよくするための工夫をしている。	授業プリント 自己評価表
		2	衣生活と社会生活のかかわり 衣服のはたらきを考える。	衣服と社会生活とのかかわりに関心を持ち、自分らしい着用をしようとしている。 目的に応じた個性を生かす着用について考え、工夫している。	ノート 自己評価表 テスト
	3	衣服を選ぶ 自分らしい着方を工夫する	衣服の社会生活上の機能について理解している。		
5	5わたしたちの衣服製作	4	衣服の構成を知る	身体を覆う衣服の構成に関心をもって取り組んでいる。 製作にむけて自分なりの課題を持ち工夫している。 簡単な衣服製作に関する基礎的な知識を身につけている。	ノート 自己評価表 テスト
		5	製作の計画を立てる 製作の準備	簡単な衣服の製作について関心をもって取り組んでいる。 製作に自分なりの課題をもち工夫したり、新たな方法を考えたりしている。 簡単な衣服の製作の計画を立て、安全で能率よく衣服製作をすることができる。 簡単な衣服製作に関する基礎的な知識を身につけている。	ノート 実習態度 実習技能 自己評価表 テスト

指導方法の工夫改善等	課題別小グループ学習、毎時間の自己評価カードの利用、視聴覚教材の利用
------------	------------------------------------

課題・提出物等	ノート、自己評価表
---------	-----------

未到達者への対応	放課後の補充学習や課題設定(休みを利用して仕上げさせる)
----------	------------------------------

総合的な学習の時間、道徳、特別活動等との関連等	道徳: 基本的生活習慣
-------------------------	-------------

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目		期間	1学期後半(期末考査)
中高・学年	中学校・1年	授業時数	期間/年間	教科書名	東京書籍
副教材1		副教材2		副教材4	

到達度目標 (含定期テスト)		自分なりの工夫ある製作計画を立て、安全で効率よく製作する力をつける。 既製品の表示などを調べ、適切に選択できる力をつける。			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
5		1	製作の準備 用具・機械・裁縫ミシン	衣服製作に必要な用具・機械・裁縫ミシンについて興味を持ち、使い方を調べようとしている。 衣服製作に必要な用具・機械・裁縫ミシンの特徴を生かして活用の工夫が考えられる。 安全で効率よく製作する基礎的な技術を身につけている。 簡単な衣服製作に関する基礎的な知識を身につけている。	ノート 実習態度 実習技能 自己評価表 テスト
		2	製作の準備 (実習)ミシン縫いの工夫		
6	5わたしたちの衣服製作 【簡単な日常着の製作】	3	衣服製作 (実習)裁断・しるしつけ	簡単な衣服の製作について関心を持ち、課題を見つけようとしている。 簡単な衣服の製作について関心をもって取り組んでいる。 製作の考案、製作計画、製作作業について課題をもち自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。 簡単な衣服の製作の計画をたて、安全で能率よく衣服を製作することができる。 (裁断、しるしつけ、ミシン縫い、縫い代のしまつ、仕上げ、用具の安全な扱い方) 簡単な衣服製作に関する基礎的な知識を身につけている。 (布の選択、型紙の活用、布地の扱い、縫い代分量、布地に合った縫い方と縫い代のしまつ、用具の安全な取り扱い)	ノート 実習態度 実習技能 作品 自己評価表 テスト
		4	衣服製作 (実習)ミシン縫い		
		5	衣服製作 (実習)ミシン縫い		
7		6	衣服製作 (実習)仕上げ		
		7	期末テスト		
指導方法の工夫改善等		課題別小グループ学習、毎時間の自己評価カードの利用、視聴覚教材の利用			
課題・提出物等		作品、ノート、自己評価表			
未到達者への対応		放課後の補充学習や課題設定(休みを利用して仕上げさせる)			
総合的な学習の時間、道徳、特別活動等との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目		期間	2学期前半
中高・学年	中学校・1年	授業時数	期間/年間	教科書名	東京書籍
副教材1		副教材2		副教材4	

到達度目標 (含定期テスト)		自分なりの工夫ある製作計画を立て、安全に効率よく製作する力をつける。 既製の表示などについて調べ、適切に選択できる力をつける。 生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事とのかかわりについて理解させる。 栄養素の種類と働きが解り、中学生の時期の栄養の特徴について理解させる。 中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える力をつける。			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
9	5わたしたちの 衣服製作	1	衣服製作 (実習) マイラベル作り, 作品交流	簡単な衣服の製作について関心をもって取り組んでいる。 製作の考案, 製作計画, 製作作業について課題をもち自分 なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。 簡単な衣服の製作の計画をたて、安全で効率よく衣服を製 作することができる。 簡単な衣服製作に関する基礎的な知識を身につけている。	ノート 実習態度 実習技能 自己評価表 テスト
		2	中学生の栄養と食事について 食事のとり方を考える	食事の役割や健康とのかかわりについて関心を持っている。 食品に含まれる栄養素について、関心を持って学習活動に 取り組んでいる。 栄養素の種類と働きについて調べたりまとめたりすること ができる。 食事の役割や健康と食事のかかわりについて理解してい る。	ノート ワークシート 自己評価表 相互評価表 夏休みの課題 テスト
	3	食事と栄養素のかかわりを知る 健康と食事のかかわりを考える			
10	1わたしたちの 食生活	4	栄養素の働きを知る 栄養素の分類ができる		
		5	何をどのくらい食べたらよいのだろう 中学生の時期の栄養の特徴		
		6	バランスの取れた食生活 夏休みのチェック表を点検する		
		7	バランスの取れた食生活 1日の献立を立てる		
指導方法の工夫改善 等	課題別小グループ学習, 毎時間の自己評価カードの利用, 視聴覚教材の利用				
課題・提出物等	作品, ノート, 夏休み課題, 自己評価表, 相互評価法				
未到達者への対応	放課後の補充学習や課題設定(休みを利用して仕上げさせる)				
総合的な学習の時間, 道徳, 特別活動等との 関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目		期間	2学期後半(期末考査)
中高・学年	中学校・1年	授業時数	期間/年間	9 / 38	教科書名
副教材 1		副教材 2		副教材 4	東京書籍

到達度目標 (含定期テスト)		考えた献立をもとに、安全と衛生に配慮して調理実習ができる力をつける。 食事点検などから自分の食生活の課題をみつけその解決をめざして考え工夫できる。 家族が住まう空間としての住居の機能を理解させる。 快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まいが工夫できる。			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
10	1わたしたちの食生活	1	バランスの取れた食生活 昼食の献立・実習計画	中学生時代の栄養の特徴に関心を持ち、自分の食事と関わらせて考えようとしている。 食事点検などから課題をみつけ、その解決について調べたりまとめたりすることができる。 中学生に必要な栄養素を満たす1日分の献立を工夫できる。 自分の食事を点検することができる。 食品群別摂取量のめやすを用いて中学生の1日分の献立を考慮することができる。 中学生時代の栄養の特徴について理解している。 食品を食品群に分類し、1日に必要な食品の概要がわかる。 食品の栄養的な特質を理解している。	ノート
11		2	昼食をつくる (実習) たてた献立に挑戦	日常食の調理に関心を持ち、調理技術を習得しようとしている。 簡単な日常食の調理を工夫している。 安全と衛生や作業の能率に留意して調理ができる。 洗う、切る、加熱する、調味する、などの基本的な調理操作ができる。 食品や調理器具を適切に扱うことができる。 食品や調理器具の安全と衛生に留意した取り扱い方を理解している。 食品の調理上の性質を理解している。	実習態度 実習技能 自己評価表 相互評価表
		3	和食の良さを知る (実習) おむすびに挑戦		レポート
		4	自分の食生活の課題をさぐる (レポート) ダイエット 等	中学生時代の栄養の特徴に関心を持ち、自分の食事と関わらせて考えようとしている。 レポートのまとめ方を工夫している。 自分の食生活の課題を理解している。	テスト
		5	自分の食生活の課題をさぐる (意見交流・課題整理)		
12	6わたしたちの生活と住まい	6	6わたしたちの生活と住まい さまざまな住まいを知る	家族の生活の場としての住居の機能について関心を持っている。 衛生的な室内の整備に関心を持ち、実践しようとしている。	ノート 自己評価表
		7	住まいの働きを考える 家族と住まいのかかわりを考える	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について考え工夫している。	相互評価表 ワークシート
		8	家族が集まる場所を快適にする工夫 (ワークショップ)	住居の基本的な機能について理解している。 室内環境を整えることの必要性に気づき、安全で快適な室内環境の具体的な方法を理解している。	テスト
		9	学期末テスト		
指導方法の工夫改善等	課題別小グループ学習、毎時間の自己評価カードの利用、視聴覚教材の利用				
課題・提出物等	作品、ノート、レポート、ワークシート、自己評価表				
未到達者への対応	放課後の補充学習や課題設定(休みを利用して仕上げさせる)				
総合的な学習の時間、道徳、特別活動等との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目		期間	3学期(期末考査)
中高・学年	中学校・1年	授業時数	期間/年間	教科書名	東京書籍
副教材1	術・家庭(家庭分野)学	副教材2		副教材4	

到達度目標 (含定期テスト)		安全で快適な住環境の整え方を知り、よりよい住まいの工夫ができる。 家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくするための工夫ができる。 家庭と地域について、自分とのかかわりとしての課題を考える力をつける。			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
12 1	6わたしたちの生活と住まい	1	健康で快適に住むための工夫 (課題) 家庭の汚れを落とす工夫	家族の生活の場としての住居の機能について関心を持っている。 衛生的な室内の整備に関心を持ち、実践しようとしている。 室内の安全に関心を持ち、安全な住まい方を心がけている。 安全で快適な室内環境の整え方と住まいについて考え、工夫している。 調査・実習などを通して、安全で快適な室内環境の整備について実践できる。(室内の空気調節、室内事故の防止、汚れに応じた清掃、騒音防止) 住居の基本的な機能について理解している。 室内環境を整えることの必要性に気づき、安全で快適な室内環境の整備の具体的な方法を理解している。 (室内の空気調節、室内事故の防止、汚れに応じた清掃、騒音防止) 用具や溶剤の安全で適切な取り扱いについて理解している。	ノート 実習作品 実習態度 ワークシート 自己評価表 テスト 冬休みの課題
		2	家族が集まりたくなる部屋にする工夫 (実習)		
		3	家族が集まりたくなる部屋にする工夫 (実習)		
		4	家族が集まりたくなる部屋にする工夫 (実習)		
		5	安全に住むための工夫 住まいの環境を点検する		
		6	よりよい住まいと住み方を考える バリアフリーを考える		
		7	よりよい住まいと住み方を考える 高齢者の立場で考える		
3	ともに生きるわたしたち 3わたしたちと家族、地域	8	家庭生活と地域とのかかわりを考える よりよい家族関係を考える。	地域の生活に関心を持ち、地域の人々と関わろうとしている。 地域の人々との交流の工夫を自分なりに考え工夫している。 地域社会の一員として、地域の人々と関わることができる。 家庭生活と地域社会のかかわりについて理解し、地域社会の一員であることに気づいている。	ノート ワークシート 自己評価表 テスト 冬休みの課題
		9	学年末テスト		
		10	家庭と地域のかかわりを考える (課題) 地域調査		
指導方法の工夫改善等		課題別小グループ学習、毎時間の自己評価カードの利用、視聴覚教材の利用			
課題・提出物等		作品、ノート、自己評価表、レポート			
未到達者への対応		放課後の補充学習や課題設定(休みを利用して仕上げさせる)			
総合的な学習の時間、道徳、特別活動等との関連等		総合: 地域 道徳: 感謝と思いやり			

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（年間指導項目）

教科	技術・家庭科（家庭科）
科目	
中高・学年	中学校第1学年
単位数	
年間授業時数	38時間

教科書	東京書籍
副教材 1	新しい技術・家庭（家庭分野）学習ノート1
副教材 2	
副教材 3	
副教材 4	

到達度目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術のかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる
-------	-----------------------------------------------------------------------

備考	
----	--

指導期間	1学期前半（中間試験）	1学期後半（期末試験）	2学期前半（中間試験）	2学期後半（期末試験）	3学期（学年末試験）
到達度目標	実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる 衣食住や家族の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用する力を身につける 衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造する力を身につける		生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身につける 家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身につける		
標準テスト等の目標	衣服と社会生活とのかかわりを考え、目的に応じた着方や個性を生かす着用について工夫できる力をつける。 簡単な日常着の製作について、自分なりに課題をもって計画的に製作できる力をつける。	自分なりの工夫ある製作計画を立て、安全で効率よく製作する力をつける。 既製品の表示などについて調べ、適切に選択できる力をつける。	生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事とのかかわりについて理解させる。 栄養素の種類と働きが解り、中学生の時期の栄養の特徴について理解させる。 中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える力をつける。	考えた献立をもとに、安全や衛生に配慮して調理実習ができる力をつける。 食事点検などから自分の食生活の課題を見つけその解決を目指して考え工夫できるようにする。 家族が住まう空間としての住居の機能を理解させる。 快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まいが工夫できるようにする。	安全で快適な住環境の整え方を知り、よりよい住まいの工夫ができるようにする。 家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくするための工夫ができるようにする。 家庭と地域について、自分とのかかわりとしての課題を考える力をつける。
	時間 主たる指導項目 教科書 副教材 頁	時間 主たる指導項目 教科書 副教材 頁	時間 主たる指導項目 教科書 副教材 頁	時間 主たる指導項目 教科書 副教材 頁	時間 主たる指導項目 教科書 副教材 頁
	わたしたちの生活の自立 1 家庭科の学習を生活に生かす 4 わたしたちの衣生活 2 衣服のはたらきを考える 3 衣服を選ぶ 自分らしい着方を工夫する 5 わたしたちの衣服製作 4 衣服の構成を知る 5 製作の計画をたてる 製作の準備（採寸）	1 製作の準備 用具・機械・裁縫ミシン 2 製作の準備 《実習》ミシン縫いの工夫 3 衣服製作 【簡単な日常着の製作】 《実習》裁断・しるしつけ 4 衣服製作 《実習》ミシン縫い 5 衣服製作 《実習》ミシン縫い 6 衣服製作 《実習》仕上げ 7 期末テスト	1 衣服製作 《実習》マイラベル作り、作品交流 1 わたしたちの食生活 2 食事のとり方を考える 3 食事と栄養素のかかわりを知る 健康と食事のかかわりを考える 4 栄養素のはたらきを知る 栄養素の分類ができる 5 何をどのくらい食べたらよいのだろう 中学生の時期の栄養の特徴 6 バランスの取れた食生活 夏休みのチェック表を点検する 7 バランスの取れた食生活 1日の献立をたてる	1 バランスの取れた食生活 昼食の献立・実習計画 2 昼食をつくる 《実習》 たてた献立に挑戦 3 和食のよさを知る 《実習》 おむすびに挑戦 4 自分の食生活の課題をさぐる 《レポート》ダイエット 等 5 自分の食生活の課題をさぐる 《意見交流・課題整理》 6 わたしたちの生活と住まい さまざまな住まいを知る 7 住まいのはたらきを考える 家族と住まいのかかわりを考える 8 家族が集まる場所を快適にする工夫 《ワークショップ》 学期末テスト	1 健康で快適にすむための工夫 《課題》家庭の汚れを落とす工夫 2 家族が集まりたいくなる部屋にする工夫 《実習》 3 家族が集まりたいくなる部屋にする工夫 《実習》 4 家族が集まりたいくなる部屋にする工夫 《実習》 5 安全にすむための工夫 住まいの環境を点検する 6 よりよい住まいと住み方を考える バリアフリーを考える 7 よりよい住まいと住み方を考える 高齢者の立場で考える 《ともに生きるわたしたち》 3 わたしたちと家族、地域 8 よりよい家族関係を考える 9 学年末テスト 10 家庭と地域とのかかわりを考える 《課題》地域調査
	期末テスト ノート 実習態度・技能 実習作品		期末テスト ノート 実習態度・技能 レポート 夏休み課題		学年末テスト ノート 実習態度・技能 実習作品